令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	NPO 法人ドリームキッズチャレンジ
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	SUNYON BASEBALL 全道大会 2024
助成金額	2,520,000 円

■調査内容

令和 6 年度スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、「SUNYON BASEBALL 全道大会 2024」を実施している NPO 法人ドリームキッズチャレンジの実施状況調査を行いました。

本大会は、3 年前のコロナの影響でスポーツを始める子どもや地域のつながりが少なくなったことから、札幌及びその近郊の小学 3、4 年生の子どもたちを対象としたマッチング型の野球イベントとして始まったそうです。2022 年に 100 名の参加者で札幌・近郊で初開催し、3 年目となる今年は、札幌・近郊を超え、全道大会として開催されることとなりました。

調査当日は札幌・近郊ブロックトーナメントの準々決勝で、参加者は両チーム合わせて 30 名、そのうち女の子が 2 名参加していました。ベンチにいる監督や子どもたちも声を出し、エラーをしてもみんなで声を掛け合いながら、お互いを応援し楽しそうに野球をしていました。

本大会の参加者は、未経験の子も多く、全道大会としての総参加者数は480名を見込んでおり、札幌では 200 名中約 60 名の未経験の子どもたちが参加されているそうです。試合のルールに T スタンド（野球ボールを支柱の上に置くもので、打者は止まっている状態のボールを打つことができる）使用など独自ルールを考案し、未経験の子も参加しやすく、野球を楽しめる工夫がされていました。

団体が抱えると課題としては、北海道の季節柄、屋外の球場が１０月初旬ごろに閉鎖されるため、年間を通して野球ができる環境が少ないそうです。

■助成の意義

当初、札幌・近郊ブロックのみの開催でしたが、今回初めて助成金を受けることで大会として 3 年目の本年度は北海道全道（道北、道南、道東、道央ブロック）へと開催規模を拡大することが可能となりました。そのことにより、北海道内の子どもたちがスポーツを始めるきっかけ作りができ、道全体の野球界活性化の一助となることができているそうです。

今回助成金を受けられなかった場合は、全道大会へと開催規模を拡大したことに伴う運営費用の増加による、参加料の値上げや、開催地の選定及び規模の縮小等を検討する必要があったそうです。しかしながら、助成金を受けることができたおかげで札幌ブロックについては、開催規模を維持するとともに、例年と同じ価格に抑えることができたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

本大会は未経験の子も多く、怪我やルール理解等の課題があったことから、独自ルールを考案

することでそれらの課題を乗り越え、みんなで見守っていく野球大会が出来たそうです。

大会のパンフレットやチラシを作成し、札幌・札幌近郊の小学校や近隣施設に配布したり、団体ホームページや SNS を利用して情報発信を定期的に行うなど、周知の方法を工夫しているそうです。さらに YouTube を通じて、動画配信やイベント告知を行い、未経験の子どもたちに向けた野球の普及等に関する情報発信も行っているそうです。

大会当日は、野球場に来られない親御さんや遠方にいる祖父母等に向けて、YouTube で大会の模様を生配信で観戦できるようにしたことにより、YouTube の登録者数が大会開催後 900 人から 1,030 人まで伸びたそうです。

事業の運営においては、YouTube による動画配信や写真撮影、スコアボード担当と最低でも 3 名のスタッフが必要ですが、選手の保護者の方を対象としてボランティアスタッフの募集を行い、費用を抑える工夫もしているそうです。

■その他

今後も全道での大会開催を行っていき、大会自体が子どもたちにスポーツを始めるきっかけや活動地域を広げて新たなコミュニティの場となる大会を目指し、さらなる発展に繋げていきたいとのことです。

■所感

子どもたちは、優勝を目指して大会に参加していますが、優勝争いだけでなく、本大会を通して楽しく野球やスポーツを始めるキッカケとなって欲しいという熱い思いが団体から伝わってきました。

野球経験の有り無に関係なく楽しく野球ができるように、経験豊かな監督を含めみんなで声を掛け合い、助け合いながら野球大会が実施されていると感じました。

今後も本大会が参加者同士のつながりの場に発展し、スポーツの普及につながることを期待しています 。

（令和 6 年 9 月 6 日往査）

（写真）SUNYON BASEBALL 全道大会 2024 の様子



